

たくさんのご支援を
ありがとうございました。

～2020年度寄付・支援報告～

社会福祉法人 つどいの家

ご寄付の報告

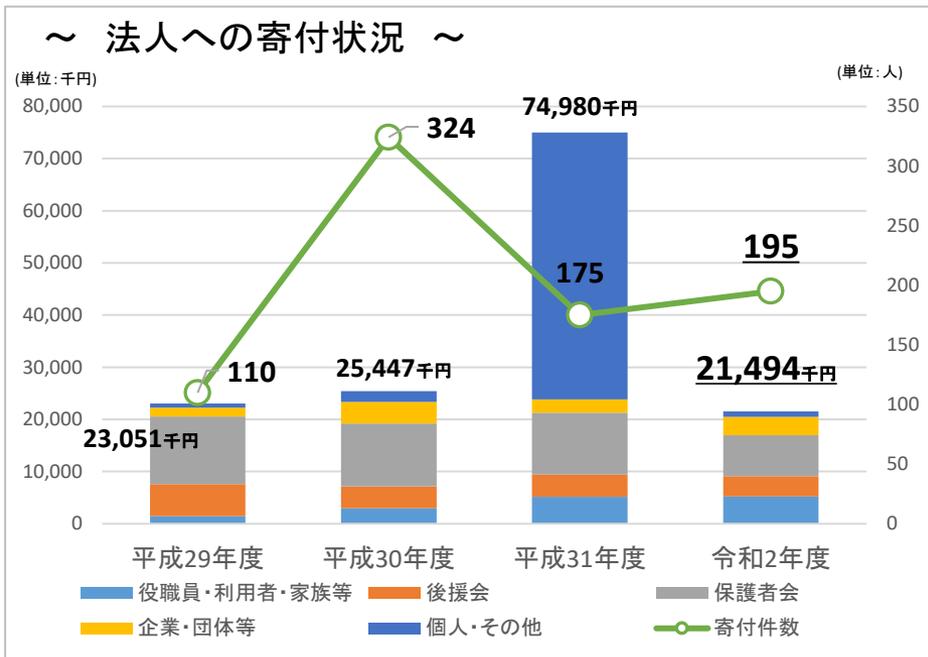
2020年度 寄付総額 21,494,317円
寄付件数 195名・団体

2020年度も多くの皆様方からご寄付をいただきました。ここに皆様方のご厚情に対し、心より御礼申し上げますとともに、寄付金の活用状況等についてご報告申し上げます。

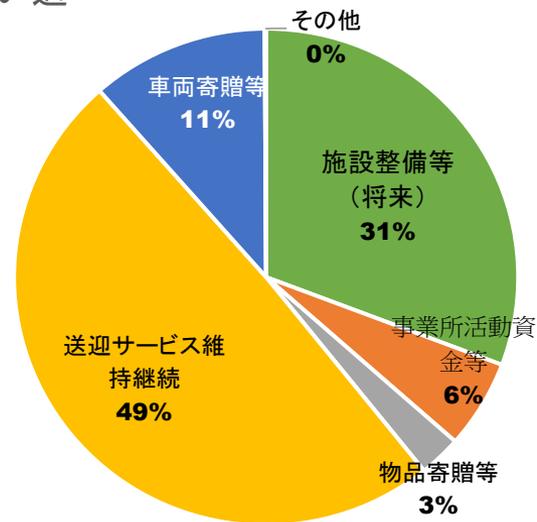
2020年度における法人への寄付状況は、長期化する新型コロナウィルス感染拡大等による人との交流機会が大幅に減少したことに大きく影響を受けました。2019年度に受けた遺贈寄付相当分を差引くと前年度比14%減少しています。他方、税額控除対象法人の認定を目指し、寄付者や法人にとってメリットのある仕組み作りなどに取り組んだ結果、寄付件数は前年度比11%増加しました。この検討過程においては、後援会や保護者会の皆様方とともに学びの機会を経て一定の議論と見直しを行っています。

経営面に目を向けますと、しょうがいのある人の社会参加の機会や余暇活動などの外出を伴う事業においては、利用者及び職員の感染防護の観点から、活動自体を制限せざるを得ない状況にもあり、大きく減収しました。また、長期化するコロナ禍にあって、その人らしい地域での暮らしを支え続けるためにも、相談支援体制や家族支援の充実も欠かせません。益々、法人経営と事業運営の持続可能性を高めながら、様々な事態に耐える経営基盤を確立していかなければならないことを痛感した一年でした。

まだまだ厳しい状況は続きますが、どうぞ当法人の活動に共感をお寄せいただき、またしょうがいのある人たちが置かれている現状をご理解いただきながら、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



～ 寄付の使い道 ～



年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	前年度比	
	寄付金額(単位: 円)	25,447,486	74,979,785		21,494,317
(内訳)	利用者・家族	1,764,300	1,118,916	4,982,280	345.3%
	役員・職員	619,107	3,949,000	210,366	△ 94.7%
	元法人関係者	577,982	96,490	26,525	△ 72.5%
	後援会・保護者会	16,264,149	16,110,578	11,756,744	△ 27.0%
	企業・団体	4,090,300	2,498,966	3,456,942	38.3%
	社福法人・NPO等	45,000	54,000	41,000	△ 24.1%
	個人(同業関係者)	270,000	183,000	0	△ 100%
	個人(一般)	1,652,588	50,882,463	980,460	△ 98.1%
	その他	164,060	86,372	40,000	△ 53.7%

2020年度 法人の財務状況・決算概要

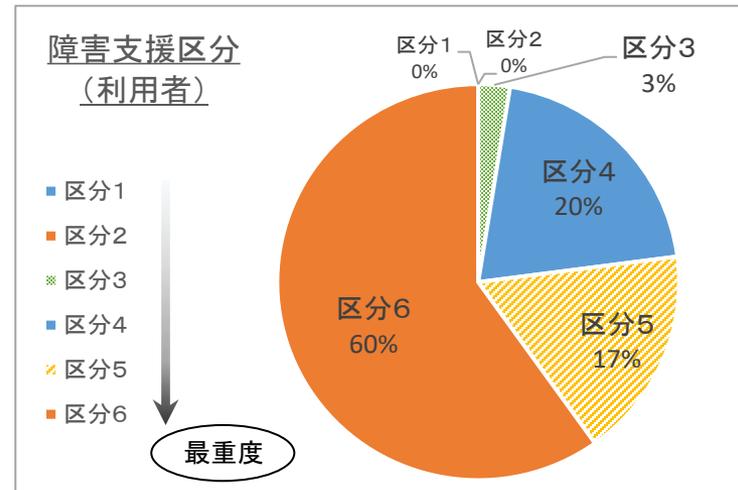
《収入の部》

勘定科目	決算額(千円)	構成比(%)	備考
給付費収入	690,919	73.3%	障害福祉サービス事業等
補助事業等収入	155,874	16.5%	市重度加算、市事業受託
利用料・年会費収入	33,750	3.6%	
その他事業収入	5,493	0.6%	作業品売上など
施設整備等補助金収入	2,110	0.2%	木口福祉財団助成、他
寄付金収入	21,494	2.3%	
積立金取崩収入	23,650	2.5%	車両、LED・倉庫等購入資金
借入金収入	0	0.0%	
その他の収入	8,880	1.0%	職員等給食費負担分等
収入合計	942,170	—	

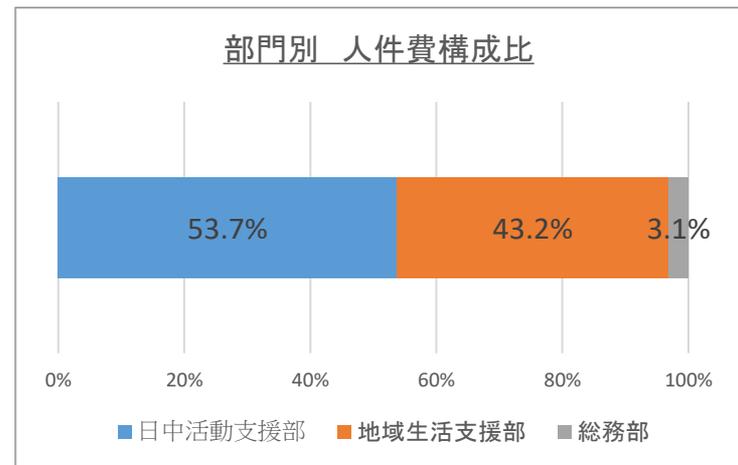
《支出の部》

勘定科目	決算額(千円)	構成比(%)	備考
人件費	719,594	76.4%	
事務費	83,974	8.9%	
事業費	52,253	5.6%	
固定資産取得費	7,995	0.8%	施設改修、車両・備品等
借入金元金・利息償還	13,191	1.4%	福祉医療機構、七十七BK
積立金積立	55,743	5.9%	寄付金(一部)、ほか
雑損失・その他支出	0	0.0%	
支払資金残高	9,420	1.0%	
支出合計	942,170	—	

【参考】通所事業所5拠点の利用者と職員配置状況



(直接支援スタッフ補足)
 職員体制 : 職員1名に対する利用者数2.5名
 利用者の平均障害支援区分 : 「5.3」
 一日あたりの平均利用者数 : 122名(5事業所計)



いただいたご寄付の主な使い道

保護者より、テレビを寄贈していただきました。
(つどいの家・コペル)

活動の中で、動画を見ながらダンスの練習をしたり、リモートによる職員の研修や会議にも使用させていただいております。



以前は区民祭りの、大きなステージでダンスを披露したことも。また、いつかお披露目できるまで、練習ががんばります!!

イオンの「イエローレシートキャンペーン」※1
で頂いたご寄付でテントと画材を購入しました。
(つどいの家・コペル)



海岸のごみ拾いの合間にテントでひと休み。
少し疲れたなあ・・・



アート作品作成中

※1 毎月11日、イオングループ各店で買い物をした際に発行される黄色いレシートをお客様が店内備え付けの各団体のBOXに投函すると、レシート合計の1%分の品物をイオン様が各団体に寄贈するという取り組みです。

NTT東日本グループ様の「マッチングギフトプログラム」によりご寄付をいただきました。(すてっぷ・はうす)

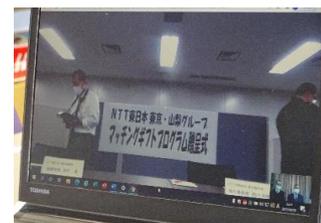
【寄付団体名】

NTT東京・山梨グループ社会福祉を進める会様
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー様
株式会社NTTビジネスアソシエ東日本様

株式会社NTT東日本-南関東様
株式会社NTT東日本サービス様
テルウェル東日本株式会社様

*「マッチングギフトプログラム」は、社員の自発的な募金活動に会社も賛同し、社会的意義のある活動に継続的に取り組んでいる特定公益増進法人に対し、社員の募金総額と同額の寄付を会社が行なうプログラムで、平成7年から各地域で実施されているそうです。

すてっぷ・はうすでは、日中一時支援事業と短期入所事業を行っており、利用の際に送迎もしています。昨年10月、市内3ヶ所あった実施場所を2ヶ所、短期入所に関しては基本的に1ヶ所、すてっぷ・はうすに集約して行なっています。そのため、利用件数が増え、送迎頻度や範囲も広がりました。この度の寄付金**2,349,566円**は、すてっぷ・はうすの福祉車両購入に充てさせていただきます。納車は6月以降の予定ですので、改めて誌面等で報告させていただきます。(ぴぼっと南光台通信第25号R3.2.25発行より)

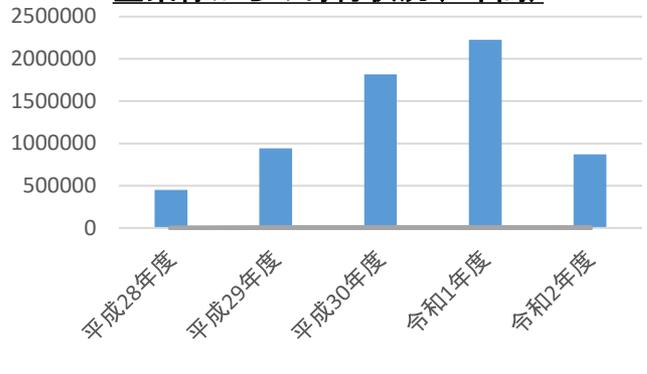


(オンライン贈呈式)



企業・民間助成団体等からのご支援

企業様からの寄付状況(5年間)



～ご寄付をいただいた企業様～

- ・新港機工(株)様
- ・(株)庄子専助商店 様
- ・(株)アトマックス 様
- ・明光ビルサービス(株) 様
- ・リックス工業(株)様
- ・(株)ハート総合企画 様
- ・ブルームビルド(株)様
- ・(一社)仙台建設業協会 様

「一般社団法人 仙台建設業協会」様より
ご寄付をいただきました。

すてっぷ・はうすは昨年10月より事業形態が変更されましたが、利用される方々にはこれまでと同様に安心してご利用いただけるよう、努めております。

この度はコロナ等の感染予防のため加湿空気清浄機を購入させていただきます。ありがとうございました。

(ぴぼっと南光台通信第24号R3.2.25発行より)



【公益財団法人木口福祉財団】様から
助成を受けて 日産バネットの福祉車両 を購入しました

新しい車が来てから、外出の機会が増え、余暇活動が以前より充実しました！

また、送迎も時間にゆとりをもってスムーズに行えるようになり、利用者様・ご家族・職員にとってなくてはならぬ1台となっております♡ (つどいの家・コペル)



【障害福祉分野における ロボット等導入支援事業費補助金】

仙台市から助成を受けて 入浴用リフト と ベッド移乗用リフト を
購入しました

ベッド移乗用リフト導入前は入居者の立位をとってもらった後、職員が抱えてベッドへ移動していたため、時折バランスを崩す事もありましたが、導入後はリフトにより安定してベッドへ移動する事が可能となりました！入浴用リフトも同様に介護者の腰への負担が軽減され喜びの声が聞かれています♡利用者の皆さんも今ではすっかり慣れて楽しい入浴タイムとなっております。(グループホーム)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に対し、多くの
企業・団体の方々よりマスクをご寄贈いただきました。

- ・株式会社アルファス計装 様
- ・一般社団法人みやぎ中小建設業協会 様
- ・宮城県知的障害者福祉協会 様
- ・同事建設株式会社 様 ・未来ING 様
- ・公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会 様



後援会・保護者会等からのご寄付

つどいの家後援会様および各つどいの家保護者会様からの寄付金については、主に法人が様々な社会課題やニーズに応えるための資源もしくは事業創設のための資金として積立てして参りました。これらには、グループホームの創設(施設整備や専任スタッフの確保・養成、事業開始以降の運転資金を想定)や新たな日中活動の場の創設、地域生活支援事業の拡充など多岐にわたっています。

	後援会	つどいの家 連合保護者会	各通所事業所 保護者会・保護者	(単位:円)		
				うち 本部寄付	うち 送迎寄付金	その他
令和1年度	4,249,276	600,000	11,261,302	400,000	10,197,372	663,930
令和2年度	3,900,000	600,000	12,239,024	500,000	10,082,200	1,656,824



《送迎寄付金について》

	障がい福祉サービス費報酬に おける「送迎加算」	送迎サービス維持継続のため に保護者様からいただいた寄付	送迎サービスに必要なコスト
仙台つどいの家	4,155,995円	2,157,000円	7,690,614円
つどいの家・コペル	5,817,051円	2,854,000円	9,731,714円
つどいの家・アプリ	4,871,950円	4,009,100円	6,922,895円
八木山つどいの家	286,109円	1,062,100円	2,630,270円
合計	A 15,131,105円	B 10,082,200円	C 26,975,493円

送迎サービスは通所事業所にとっては欠かせないサービスです。利用者、保護者の高齢化が進むにつれ、送迎のニーズは高くなっていきます。

サービスを維持・継続する為には、給付費の「送迎加算」だけでは足りず、利用されている方のご家族からのご寄付を使わせていただいています。

A：障害福祉サービス費報酬
における「送迎加算」



B：送迎サービスを維持継続
するためにいただいた寄付



C：送迎サービスに必要なコスト

- ・送迎車の運転手、添乗員の人件費
- ・車両の車検、点検費
- ・タイヤ購入など消耗品の購入費
- ・その他車両メンテナンス費
- ・ガソリン代
- ・駐車場賃借料(一部事業所)
- ・車両減価償却費
- ・車両リース費 等 4施設計 26,975千円

他にもさまざまなご支援・ご協力をいただきました

○フードボックスへの食品提供 (つどいの家・コペル)



本日、フードボックスにお味噌汁が入っていました。ありがとうございます。
これからの時季は温かいお味噌汁が心と身体に沁みます。
いただいた食品は活動内で利用者と職員がフードバンク仙台さんにお届けします。
引き続き食品を募集しております☆ご協力をお願いします。
2020年10月22日 (法人ホームページブログより引用)
※生活にお困りの個人や支援団体に無償で食糧をお届けし、生活の困りごとを解決できるよう必要な情報提供や支援機関にお繋ぎする、市民共助によるセーフティネットです。

○技術の提供 ネイルアート (八木山つどいの家)



(法人広報誌 つどいの第31号R3.1.31発行より)

○昼食の提供 (すてっぷ・はうす)



「宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合」様より

昼食を振舞っていただきました。
当日は、すてっぷ・はうすをご利用されていた方とスタッフで、清水屋南光台店さんの美味しい出前を頂き、心も体もぼかぼか♪幸せな時間を過ごしました。ごちそうさまでした。
(びぼっと南光台通信第24号R3.2.25発行より)

○生花の提供 (つどいの家・コペル)



コペルのご近所に住む鈴木恵美子さんが、村上生花店さんのご協力のもと、毎月2回お花を届けてくださいます。玄関が、ぱ〜っと明るくなります。

○音楽ボランティア (八木山つどいの家)

音楽ボランティア瀧澤さんと文音さん作詞の「いぬ」を披露しました。
(やまかぜのベンチ第232号R3.3.1発行より)



○資源回収へのご協力

つどいの家・コペル、つどいの家アプリ、仙台つどいの家では空き缶や段ボールなどを回収し、リサイクル業者へ納品して活動資金の一部に充てています。
ご近所の方々にたくさんの資源を提供いただいています。

その他にも、法人広報誌や各事業所の会報へのご協力をいただきまして、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、バザー、夏祭り等様々なイベントを開催できず、つどいの家が大切にしている、地域の皆様との関わりやボランティアの受け入れの機会も少なくなっていました。



仙台つどいの家(2018年・夏祭り)
利用者、ご家族、職員、地域の皆様、ボランティアさん
沢山の人がつどい楽しんでいました。



つどいの家・コペル(2019年・バザー)
ご近所の方や仙台市内各区からご来場いただきました。保護者と協力して新鮮な野菜を仕入れ、販売も行いました。



つどいの家・アプリ(2019年・バザー)
たくさんの方が開始前から行列をつくりました。他事業所の販売カーも来て、にぎわいました。

《来訪者の前年度比較》

	令和2年度			令和1年度		
	一般来訪者	一般見学者	ボランティア	一般来訪者	一般見学者	ボランティア
仙台つどいの家	264名	76名	190名	367名	86名	409名
つどいの家・コペル	217名	17名	21名	409名	56名	26名
つどいの家・アプリ	270名	37名	8名	63名	70名	37名
合計	751名	130名	210名	839名	212名	472名

《八木山つどいの家喫茶》 来客数比較



来客数 令和1年度 929名
令和2年度 436名

また、各事業所では公益的な取組みとして、セミナー開催等を計画しておりましたが、実施できませんでした。安心して集まれる状況になりましたら開催いたします。

コロナ禍での出会い・楽しみ

仙台つどいの家「すてーじ」

仙台つどいの家の冬の風物詩になりつつある実践報告会『すてーじ』ですが、やはり今年はコロナの影響が・・・。

軒並みイベントが中止になる中でも、『すてーじ』だけは何とか開催できないものかと、春から準備を重ね会場も確保し。。。でしたが、秋以降の感染拡大を受けて、今年はweb開催としました。

当然のことながら、恒例のゲスト講演もなし。ということで、今年は新作2本に加えてリバイバル作品2本も上映しました。上映後はいつものとおり主演の利用者さん・作成者に想いをインタビュー。この様子も生配信しました！

思いがけず全国の多くの方々に申し込みをいただきました。例年会場に駆けつけてくださる方以外にも、多くの方にご覧いただけたのも、webならではですね～！

次年度以降の開催方法についても、考えるきっかけにもなりました。

ご覧いただいたみなさん、ありがとうございました～！（ホームページより抜粋）



つどいの家・アプリ ～きらりほっと特集～

・活動中に縄文の杜広場へ行ったところ、新型コロナウイルスの影響の為に休憩スペースが解放されていませんでした。しかし、スタッフの方が「室内では飲食はできないけれど、外でもよかったですらどうぞ。」とレジャーシートを貸してくださいました。

その後、レジャーシートを返しに行ったところ「返さなくても大丈夫ですよ。また、いつでも遊びに来て下さい。」と言ってくださいました。利用者も笑顔で「ありがとう」と感謝を伝え、職員も温かい気持ちになりました。

・活動で蕃山へ行き、昼食休憩をとっていたところ、通りかかった方に声をかけてもらい写真を撮っていただきました。「撮った写真は後で送りますね。」とくださり、後日写真とお手紙が届きました。地域の方々、ありがとうございました。感謝の気持ちを大切に、今後も地域と繋がりを持ちながら心温まる経験を共有できたらと思います。

(アプリ通信 No83 アプリのことR2.12.25発行より)

グループホーム

利用者の皆さんの不安の解消や健康管理 活動の工夫

室内で過ごさざるを得ない時間が多くなりましたが、今までより職員も利用者さんも何かをやりたい！！という意欲が増したようです・・・(現場職員の声)

(法人広報誌つどい第31号R3.1.31発行より)



コロナ禍だからこそ時間をかけて取り組めたり、アイデア次第で楽しめる事、夢中になれる事が思っていたより、沢山ありました・・・♡

